

お客様各位



農薬登録のご連絡の件

首記の件、下記について登録されましたのでご連絡致します。

記

適用拡大 2024年10月2日付(2件)

(1) 日農ハチハチフロアブル

登録第 21055 号

①希釈倍数の変更:もも、ネクタリン/クビアカツヤカミキリ(1000倍)⇒(1000~2000倍)

②病害虫名の追加:カリフラワー/アブラムシ類(1000倍)

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トルフェンピラトを含む農薬の総使用回数
カリフラワー	コナガ、アブラムシ類	1000倍	100~300ℓ/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
もも ネクタリン	シンクイムシ類	1000~ 2000倍	200~700ℓ/10a	収穫前日まで			
	クビアカツヤカミキリ			成虫発生期但し、 収穫前日まで			
	アブラムシ類 モモハモグリガ モモサビダニ	2000倍		収穫前日まで			
アザミウマ類	1000倍	収穫前日まで					

* 注意事項の変更はございません。

(2) 日農ハチハチ乳剤

登録第 24193 号

・希釈倍数の変更:たまねぎ/アザミウマ類(1000~2000倍)

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トルフェンピラトを含む農薬の総使用回数
たまねぎ	べと病 ネギハモグリバエ	1000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	アザミウマ類	1000~2000倍					

* 注意事項の変更はございません。

以上

2024年10月2日

お客様各位



「商品」農薬登録のご連絡の件

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より弊社商品の普及販売に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、下記につきまして、登録変更がございましたので、別紙の通りご連絡申し上げます。
使用者への周知徹底につきご協力賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

別紙 「ワイドアタック™SC」登録内容変更のご案内 5枚

以上

2024年10月2日

お客様 各位

コルテバ・ジャパン株式会社
マーケティング本部

「ワイドアタック™SC」登録内容変更のご案内

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて水稲用除草剤「ワイドアタック™SC」の登録内容変更申請が別紙のとおり、10月2日付にて認可となりましたのでご案内申し上げます。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

(別紙 1)

1 農薬の登録番号及び名称

登録番号: 第22086号

名 称: ワイドアタック SC

2 変更の内容

以下の内容が変更となりました。

1. 農薬登録申請書第7項を変更し、変更後のとおりとする。

- (1) 作物名「移植水稻」の使用 방법에「無人航空機による散布」を追加する。
- (2) 作物名「直播水稻」の使用 방법에「無人航空機による散布」を追加する。

2. 農薬登録申請書第8項「使用上の注意事項」(13)の 8 に以下の注意事項を追加し、別紙のとおりとする。

(追加)

8. 散布薬剤の飛散によって、周辺の作物に薬害を生じるおそれがあるので、かからないように十分注意して散布すること。

※変更の理由

無人航空機散布時の注意を喚起するため。

【変更後】(変更する作物のみ抜粋)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ペノキサラムを含む農薬の総使用回数	
			薬量	希釈水量				
移植水稲	一年生雑草 および 多年生広葉雑草	移植後 20 日 (稲 5 葉期以降) ~ ノビエ 6 葉期 但し、収穫 30 日前まで	100mL /10a	100L /10a	2 回以内	落水散布 又はごく浅く湛水して散布	2 回以内	
	ノビエ	移植後 20 日 (稲 5 葉期以降) ~ ノビエ 6 葉期 但し、収穫 30 日前まで		0.8~1.6L /10a		無人航空機による散布		
直播水稲	一年生雑草 および マツバイ、 ホタルイ、 ウリカワ、 ミズガヤツリ、 ヘラオモダカ、 セリ、 ヒルムシロ	稲 3 葉期 ~ ノビエ 5 葉期 但し、収穫 30 日前まで		100L /10a		0.8~1.6L /10a		落水散布 又はごく浅く湛水して散布
	ノビエ	稲 3 葉期 ~ ノビエ 5 葉期 但し、収穫 30 日前まで		無人航空機による散布				

(別紙)

8. 使用上の注意事項

- (1) 本剤は懸濁性液体なので、使用の際は容器をよく振って均一な状態にしてから所定量を取り出すこと。なお希釈は正確に行うこと。
- (2) 散布液は使用当日に調製すること。
- (3) 稲の出穂時の散布は薬害のおそれがあるので使用は控えること。
- (4) 前処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失しないように適期に散布すること。
- (5) 薬害のおそれがあるので展着剤は添加しないこと。
- (6) 散布する前にできるだけ落水すること。落水ができない場合は薬液が雑草に十分かかるようなごく浅水状態にして、水の出入りをとめ、まきむらのないように均一に散布すること。
- (7) 落水が不十分だと効果が劣るので注意すること。
- (8) 散布は噴霧状に行い、薬液が雑草全体によくかかるようにすること。
- (9) 散布後少なくとも2日間（浅水処理は3日間）はそのままの状態を保ち、入水、落水、かけ流しはしないこと。また散布後7日間は降雨の有無にかかわらず落水、かけ流しはしないこと。
- (10) 処理後1日以内に降雨があると効果が不十分になるおそれがあるので、晴天の持続する時を選んで使用すること。
- (11) 本剤は生育期に入った雑草に効果があるが、雑草、特に多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので必ず適期に散布すること。ホタルイは花茎抽出始まで、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカは4～6葉期まで、ヒルムシロ、セリは生育期まで、クログワイは草丈20～30cm、オモダカは草丈30cm、シズイは草丈10cm、コウキヤガラは草丈20cmまでに散布すること。また、一年生雑草のミズアオイは3～4葉期まで、クサネムは草丈20cmまでに散布すること。
- (12) クログワイ、オモダカ、シズイ、コウキヤガラ防除は、それぞれの雑草に有効な前処理剤と組み合わせて使用すること。また、クログワイ、オモダカに有効な前処理剤と組み合わせて連年施用することにより、さらに効果が向上する。
- (13) 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ること。
 1. 散布は散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
 2. 散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 3. 作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他装置の十分な点検を行うこと。
 4. 周辺に水稻以外の作物が栽培されている場合は、無人航空機による本剤の散布は行わないこと。
 5. 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意すること。
 6. 薬剤散布に使用した装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
 7. 本剤の散布に使用した無人航空機の散布装置は、水稻以外の作物への薬剤散布には使用しないこと。
 8. 散布薬剤の飛散によって、周辺の作物に薬害を生じるおそれがあるので、かからないように十分注意して散布すること。
- (14) 薬害のおそれがあるので重複散布をさけること。
- (15) 軟弱稲では薬害のおそれがあるので使用はさけること。
- (16) 本剤の使用後に低温が続くと予想される場合には、稲に生育抑制などの薬害が発生するおそれがあるので、使用をさけること。
- (17) 薬害を生じるおそれがあるので、周辺作物にかからないよう十分注意すること。
- (18) 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合にはかからないよう十分注意すること。また、散布田の水田水をこれら作物に灌水しないようにすること。
- (19) 散布機、ホース、ノズル、タンク等の器具は、使用後速やかに十分に水洗し、洗浄液は水田内で処理すること。また、使用した器具などは水稻以外に使用しないこと。

- (20) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。